

2021年度大学院説明会 (入学希望者向けガイダンス)



東京大学 大学院 医学系研究科
公共健康医学専攻

2020年6月6日(土)15:00-17:30

東京大学大学院医学系研究科

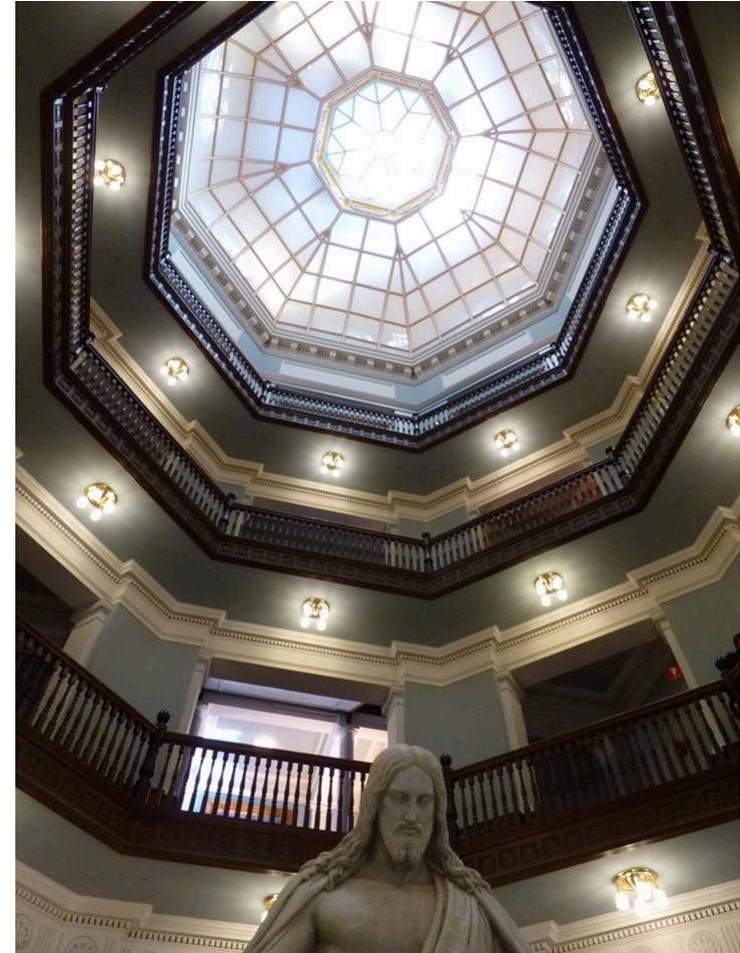
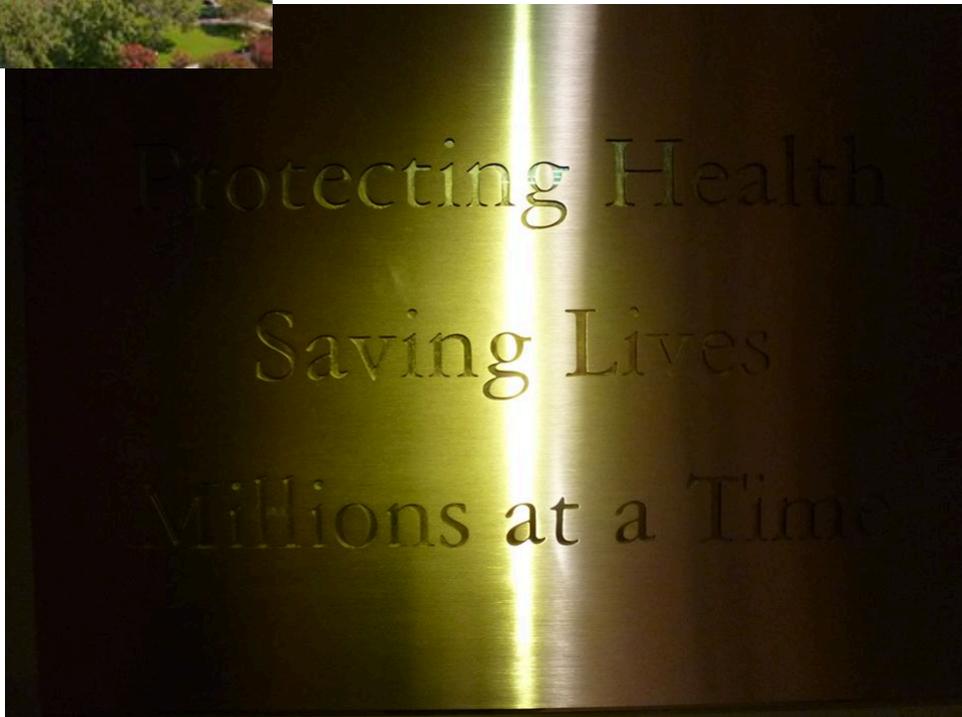
公共健康医学専攻

専攻長 橋本英樹

hidehashimoto-circ@umin.ac.jp

パブリックヘルスとは

- “Public Health is the art and science of preventing disease, prolonging life and promoting physical and mental efficiency through the organized community efforts...” (組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、生命を延長し、身体的、精神的機能の増進をはかる科学であり技術である)」
Winslow *CEA Science* 1920; 51(1306): 23-33.



“Protecting Health, Saving Lives, Millions at a Time”
(健康を守り、命を救おう、たくさんの人を一度に)

米国Johns Hopkins公衆衛生大学院のホールのパネル

公共健康医学専攻の目的

本専攻は、国民や地域住民、患者も含めた広範な人々の健康の維持、増進、回復及び生活の質 (quality of life) の改善に寄与する最先端の研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人を養成する。本課程の修了者には、公衆衛生学修士(専門職) (Master of Public Health) が授与される。

求める学生像

国内外の地域、職場、保健・医療・介護・福祉の場を含むあらゆるコミュニティにおいて、すべての人々の健康維持、増進、回復及び生活の質(quality of life)の改善に寄与する最先端研究を推進するとともに、公衆衛生領域で指導的及び実践的役割を果たす高度専門職業人として将来活躍することをめざす人

理論・研究能力×実践力(コンピテンシー)

= 高度公衆衛生専門職

求める学生像(アドミッションポリシー(つづき))

○保健医療系あるいは公共健康医学に関連する広範な学術領域における学部教育の素養を有する。もしくは関連の実務経験を有すること。

○公共健康医学に含まれる広範な領域に関する基礎知識及び関連専門分野について強い関心と学習意欲を備え、独創的な学術研究、政策立案、技術開発に取り組むことができる能力を持っていること。

○論理的で明晰な分析力と、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力で、公共健康医学の未来を切り拓いていく能力を持っていること。

○大学院で獲得した高度な知識と研究能力を礎として、公共健康医学系領域の各分野において国際的なリーダーとして活躍できる能力を持っていること。

公共健康医学専攻の特徴(歴史)

- ◆ 当該分野における東京大学の「強み」
- ◆ 日本最初の公衆衛生学講座
1947(昭和22)年設置
- ◆ 日本最初の保健学の大学院
1965(昭和40)年開設
- ◆ 大学院重点化
1995(平成7)年 社会医学専攻
1996(平成8)年 健康科学・看護学専攻
- ◆ 公衆衛生の専門職大学院(公衆衛生大学院)
2007(平成19)年 設置

教員組織の特徴

- ◆ 専任教員(現員)23人(実務家教員6人を含む)
+ 連携教員10人
- ◆ 疫学保健学系
数量的分析、コミュニケーション手法
- ◆ 行動社会医学系
行動科学、社会科学的方法論
- ◆ 医療科学系
制度、システム、情報の応用
- ◆ 協力講座

私達の方針: 分野をまたぎ教員が1つとなって学生の教育に係わる

公共健康医学専攻 (School of Public Health)

公共健康医学専攻
(専門職学位課程)

疫学保健学講座 (Epidemiology and Health Sciences)

生物統計学 (Biostatistics)

社会予防疫学 (Social and Preventive Epidemiology)

臨床疫学・経済学 (Health Economics and Epidemiology Research)

医療コミュニケーション学 (Health Communication)

がん疫学 Cancer Epidemiology

行動社会医学講座 (Behavioral Health Sciences)

精神保健学 (Mental Health)

健康教育・社会学 (Health Sociology and Health Education)

保健社会行動学 (Health and Social Behavior)

医療倫理学 (Biomedical Ethics)

保健医療人材育成学 Human Resource Development for Health

医療科学講座 (Health Services Sciences)

健康医療政策学 (Health Policy)

医療情報システム学 (Healthcare Informatics)

臨床情報工学 (Clinical Information Engineering)

法医学・医事法学 (Forensic Medicine and Medical Law)

保健医療科学 (Public Health Science)

国際環境保健学 (Global Environmental Health)

(協力講座) 疾患生命工学センター・健康環境医工学

東京大学医学部教育研究棟 (同棟13階にSPH講義室・学生控え室)



公共健康医学専攻の特徴(カリキュラム)

- ◆ 2年コースと1年コース(定員計30人)
実務経験者向けの1年コース
- ◆ 多様な科目
必修科目と選択科目の組合せ
- ◆ コースワーク・フィールドワークの重視
講義・演習・実習の組合せ
- ◆ 課題研究(2年コース必修)
教員による実務・研究指導

公共健康医学専攻の授業科目

◆ 必修科目 統計 「医学データの統計解析」

◆ 選択必修から5科目

疫学 「疫学研究と実践」か「医学研究のデザイン」

行動・社会科学 5教科から2科目選択

医療管理 「健康医療政策」「医療情報」いずれか

環境保健 「産業保健」「環境健康医学」いずれか

上記6科目(計11単位)を指定

□ 課題研究(2年コースは必須)

公共健康医学専攻の授業科目(つづき)

◆ 選択科目(必修科目を含め30単位以上取得)

臨床疫学、臨床医学概論

日本の医療と地域保健(英語)

社会と健康 I・II

合併科目:国際保健政策学特論 I・II(英語)

インターンシップ(夏、春)

など、多様な授業科目を用意

他専攻・他研究科の科目は合計で8単位まで

(※1年間の単位取得上限50単位)

2020年度学事スケジュール

- ◆ 4月 入学オリエンテーション、S1授業開始
- ◆ 6～7月 研究室配属説明会、配属先決定
- ◆ 8～9月 夏季休業期間(集中授業等)
- ◆ 9月 A1授業開始
- ◆ (10月 日本公衆衛生学会 オンライン開催)
- ◆ 11月 キャリアデザイン懇談会
- ◆ 12月 課題研究論文提出締切、プレゼンテーション講習会
- ◆ 1月 課題研究発表会
- ◆ 2月 A2授業終了
- ◆ 3月 学位授与式

2020年度公共健康医学専攻・授業予定表

S1	S2	夏季休業	A1	A2	W
4/5～6/4	6/5～7/31	8/1～9/18	9/24～11/15	11/18～1/24	1/27～
健康危機管理学 法医学・医事法学 公共健康医学特論 保健医療人材育成学 医療コミュニケーション学 保健医療経済学 臨床医学概論 医学データの統計解析 医療倫理学Ⅰ 医療情報システム学	環境健康医学 Health Care and Community Health in Japan (2020休講) 医学研究のデザイン 臨床疫学 医療コミュニケーション学演習 医療情報システム学実習 医学統計学演習 医療倫理学Ⅱ 公共健康情報学	インターン シップ、課 題研究など (集中講 義) 予防保 健の実践と 評価保健行 政・健康危 機管理学実 習	環境健康医学方法論 学習者評価学 産業保健の理論と実践 医学研究とCDISC標準 がん疫学 社会と健康Ⅰ 健康社会学 公共健康情報学実習 Comparative health systems in Asia	医療技術評価 学演習 健康教育学 社会と健康Ⅱ	インター ンシップ、 課題研 究など
法医学・医事法学 精神保健学Ⅰ 疫学研究と実践			健康医療政策学 精神保健学Ⅱ 臨床疫学・経済学演習		

他、他専攻合併科目(社会保障政策学、国際保健政策学Ⅰ, Ⅱ) + 医療経営学。

課題研究(2年コース必修)

- ◆ 研究内容による分類(学生の自己申告)
- ◆ 区分: 原著、公衆衛生活動報告、システム開発、文献レビュー、その他
- ◆ 評価基準(以下の基準を総合して評価)
 1. テーマの新規性・独創性・実用性・有用性
 2. 論理的(科学的)な思考能力
 3. 方法(アプローチ)の妥当性
 4. 結論のimplication・テーマの発展性
 5. プレゼンテーション・質疑応答能力
 6. 本人の貢献度
 7. 文章・図表の完成度

課題研究のテーマの実例(2019年度)

- 傾向スコアマッチングによるヒストリカルコントロールデータを利用したベイズ流適応的ランダム化デザインの統計学的性能評価
- 医師・薬剤師への処方情報レター送付によるポリファーマシー患者の処方内容の改善効果
- 不妊のリスク因子に関するインターネット上の情報の内容分析
- 知的障害の有無による肺炎重症度と病院アウトカムの比較:全国の入院患者データベースを用いた後ろ向きマッチドコホート研究
- 日本における在住外国人の医療アクセスに関する研究日本人若年女性におけるHPV ワクチンと接種後発現症状の関連:名古屋スタディの再検証
- フィリピン・ムンティナルパ市の貧困地域における障害者の生活状況
- 聴覚情報処理障害の改善を目的としたバーチャルリアリティ(VR)アプリケーションの開発

海外公衆衛生大学院との交流

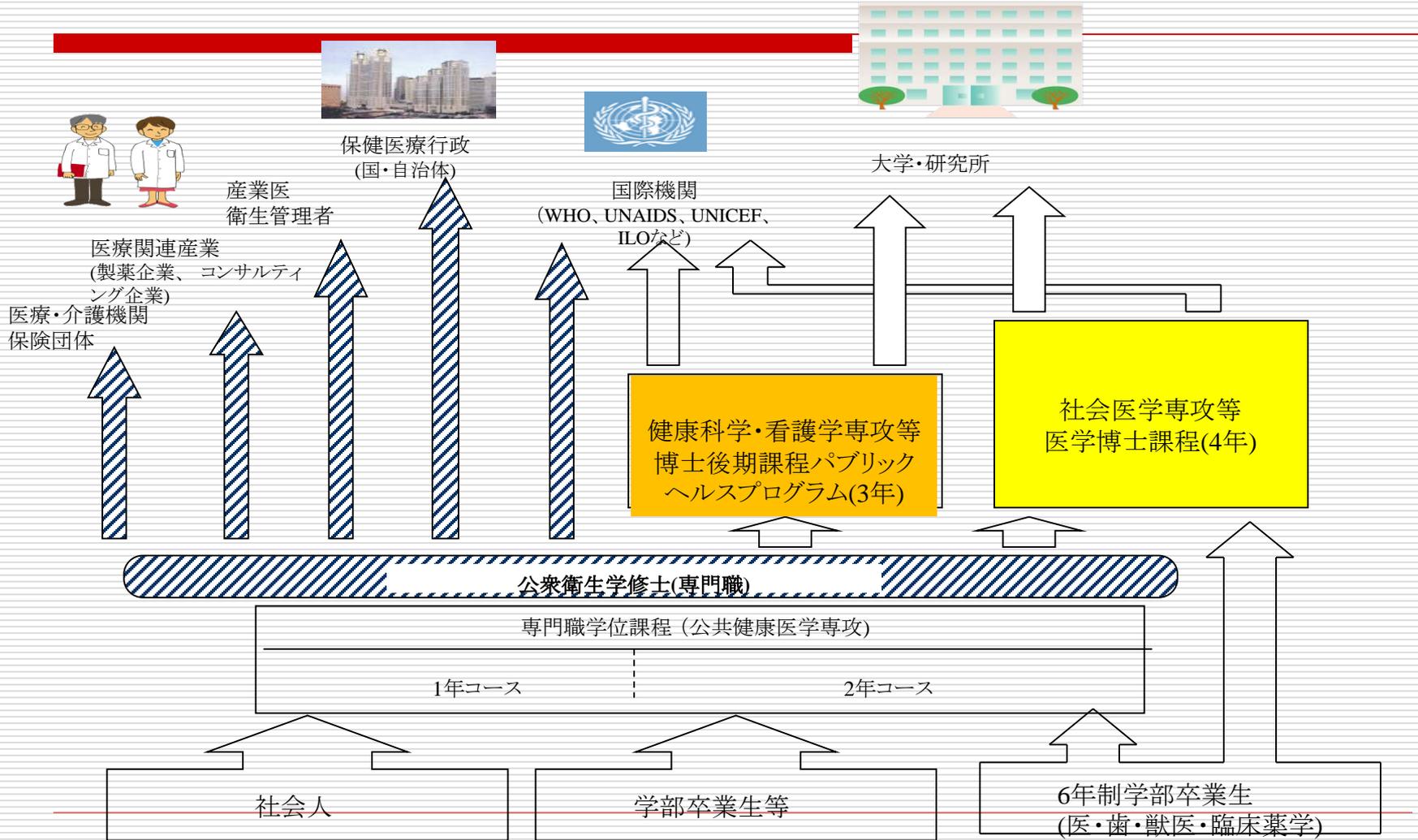
- ◆ ソウル大学
- ◆ 北京大学
- ◆ ハーバード大学
- ◆ ハワイ大学
- ◆ 国立台湾大学、台北医科大学
- ◆ ユニバーシティカレッジオブロンドン
- ◆ ロンドン大学衛生熱帯医学大学院

国際共同研究: 12カ国、25のプロジェクト



PeSeTo公衆衛生大学院
会議・シンポジウム
(2008, 2009, 2011,
2013, 2014, 2016,
2017, 2019年)

修了後の進路



修了者の進路

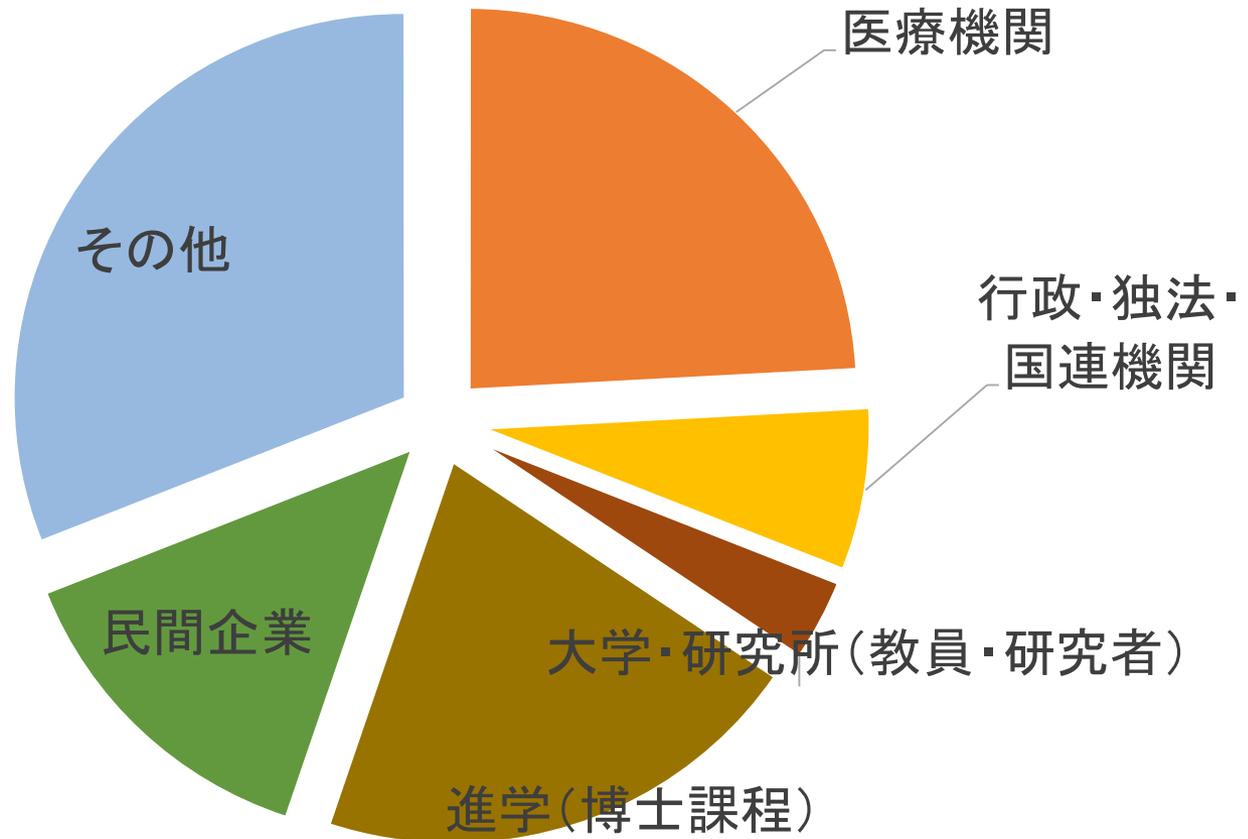
高度専門職業人として

- ◆ 公衆衛生行政、国際機関など
- ◆ 臨床研究・EBM、臨床試験の専門家
- ◆ 民間シンクタンク、NGO等の専門家
- ◆ 病院の医療経営・情報システムの専門家

研究者として

- ◆ 博士課程進学、教育研究機関など

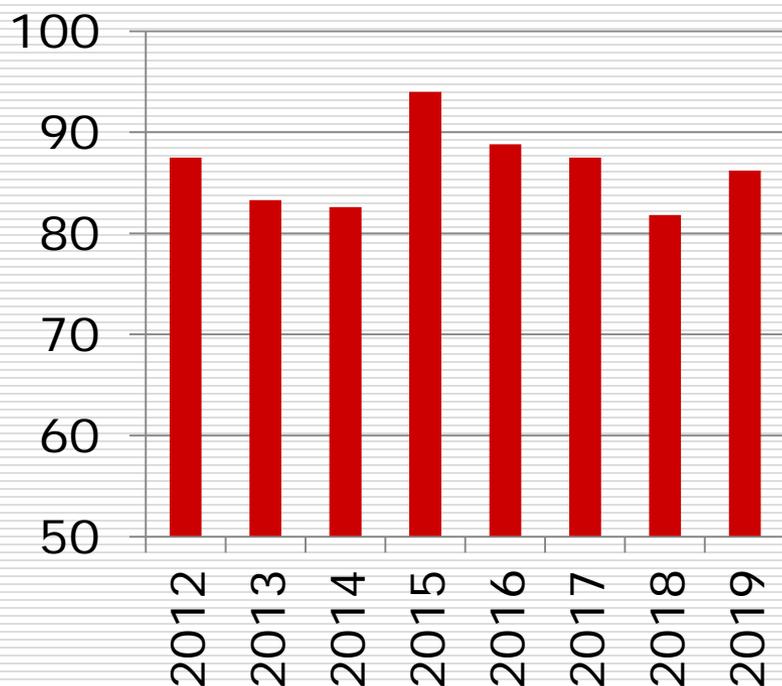
修了時の進路(%)



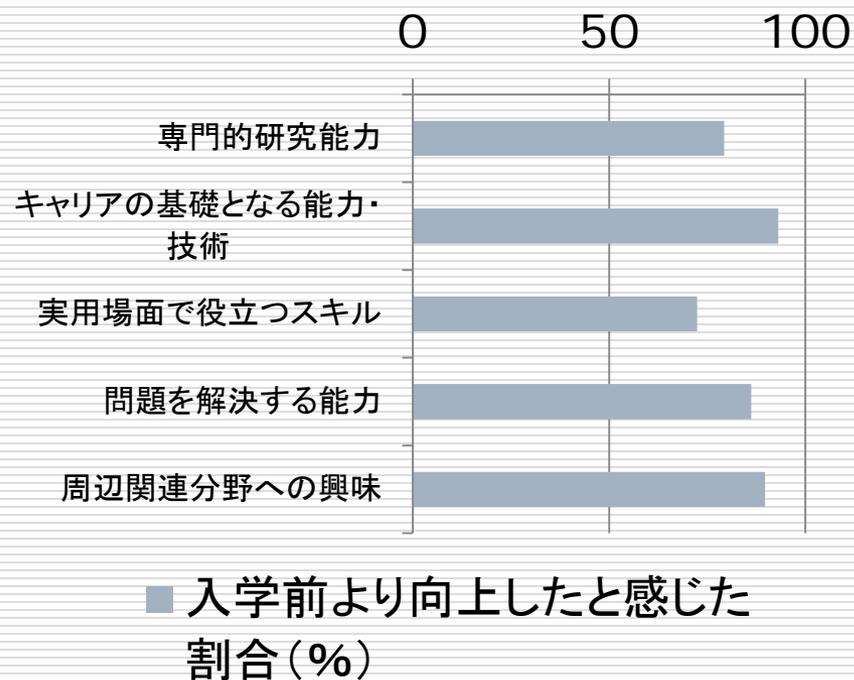
2019年度修了生

修了生による教育の評価

高い修了時満足度：もう一度、入学前の状態に戻り、大学院に進学するとしたら 第1希望で志望する(%)



修了後の専門知識の必要度と習得率(2019年全修了生調査へ回答)



知識の習得だけでなく、「知識を使う」公衆衛生コンピテンシーを重視

東京大学公共健康医学専攻のHP (専攻HP) (同窓会HP)

The screenshot shows the homepage of the U-Tokyo SPH website. At the top left is the logo and name: 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻. Navigation links include 専攻概要, 分野・教員紹介, カリキュラム, 入試情報, リンク, and ENGLISH. A main banner features a building image and the text: パブリックヘルスマインドを持った公衆衛生リーダーの育成. Below this is a 'LATEST NEWS' section with a grid of news items, each with a date and a small image. A 'VIEW MORE' button is at the bottom.

The screenshot shows the header of the U-Tokyo SPH Alumni website. It features a navigation bar with links: ホーム, 東京大学SPHとは, 東京大学SPH同窓会について, 2017年度同窓会役員, 修了生の紹介, 同窓会総会のご案内, 同窓会サロン, and 公衆衛生系大学院リンク. Below the navigation is a banner for the 10th Anniversary of U-Tokyo SPH Alumni, with the logo and text: 10th Anniversary of U-Tokyo SPH Alumni.

(最終更新2018年3月5日)

このサイトは、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻（東京大学SPH）の同窓会公式サイトです。

- New!2018年新年会を開催しました
- New!第11回同窓会総会を開催しました
- New!第11回SPHサロンを開催しました

東京大学SPH同窓会公式Facebookはこちら

東京大学SPHは、2007年に開講された日本で3番目の公衆衛生大学院です。2014年3月までに公衆衛生学修士（専門職）として186名が学位を受け、厚生労働省や保健所といった公衆衛生専門機関をはじめ、大学・研究所や医療機関、民間企業など幅広い分野で活躍しています。

東京大学SPH紹介動画はこちら

東京大学SPH 同窓会は1期生が卒業した2008年3月に設立され、修了生同士の交流や現役学生との意見交換、他大学や海外のSPH学生・OB、これから公衆衛生大学院で学びたい方々との交流促進などを実施しています。

同窓会理事会メンバー(2018年2月7日)

The sidebar contains several sections: '最近の投稿' with a list of recent posts including '第12回SPHサロン開催のお知らせ', '2018年新年会を開催しました', '第11回同窓会総会を開催しました', '第11回SPHサロンを開催しました', '第11回SPHサロン開催のお知らせ', and '原本室見学申し込み'. Below this is a search bar labeled '検索...' and a 'メタ情報' section with links for 'ログイン', '投稿のRSS', 'コメントのRSS', and 'WordPress.org'.



2021年入試試験の実施について

- 今般の新型肺炎による感染拡大防止の措置などによる制限を考慮し、筆記試験は行わないこととする
- 書類による1次審査ののち、面接による2次審査を実施（面接は8月17日、18日予備日に実施を第一候補として検討中）
- 面接はオンラインでの実施を検討中、オンラインでの接続ができない事情がある場合は別途実施
- 書類については、募集要項に記載の各種書類・証明書類に加えて小論文と活動報告書の提出を追加

求められる新しい公衆衛生専門職のコンピテンシー

MPH CORE COMPETENCY MODEL *

Communication and informatics コミュニケーションと情報科学

Diversity and culture 多様性と文化

Leadership リーダーシップ

Public health biology 医学・生物学的基礎

Professionalism プロフェッショナリズム

Program planning 計画策定

Systems thinking システム思考

* US Association of Schools and Programs of Public Health, 2016

公共健康医学専攻で学ぶにあたって

- 人々の命と生活を守るpublic health専門家となること
の責任(professionalism)を意識する
- 多様な立場や考え方を持つメンバーと、多様性を尊重しチ
ームとして活動するメリットを最大限活かす
- 積極的に授業・イベントに参加する。授業外でも教員をしっ
かり利用する。生徒ではなく「public health spiritを共有
する同志」として
- 「ビジョンを持ち、それを現実に変える」change agentと
して(ひとりひとりの)リーダーシップを意識する(トップで仕
切るという意味ではない)

2021年入試試験の実施について

- 従前の知識ベースの試験とは趣がやや異なり、パブリックヘルスを学ぶコンピテンシーを総合的に判断
- もちろん学力も必要(統計学を学ぶための基本的数学素養、そして英語！英文読解力はかなり必須！)
- コンピテンシーを判断する材料として小論文と活動報告書を利用(ポイント;アドミッションポリシーに沿う人材か?)
- 活動報告書では基礎的学力(数学的素養、英語力など)についてもアピールを
- 書類審査ののち上位者(定員の2倍程度を検討中)について面接を実施、出身学校の成績・書類選考の評価・面接評価を総合的に判断して最終的に選考
- 以上は近日医学系研究科ホームページなどを通じて公表予定

公共健康医学専攻と関連した博士課程

<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/apply/appguidemain.html>



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻



大学院生募集

●入試説明会 ※事前申込み不要
2018年5月12日(土)
東京大学 本郷キャンパス
医学部教育研究棟
鉄門記念講堂

●研究分野
家族看護学 高齢者在宅長期ケア看護学
緩和ケア看護学 精神看護学 地域看護学
行政看護学 母性看護学・助産学
看護管理学 看護体系・機能学
老年看護学 創傷看護学
ライフサポート技術開発学
アドバンストナーシングテクノロジー



東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻 医学博士課程 入試説明会



2020年度入学希望者向け社会医学専攻医学博士課程の入試説明会を開催いたします。ご関心のある方は、この機会にご参加ください。

日時: 2019年6月1日(土)13時~14時半
場所: 東京大学医学部教育研究棟14F鉄門記念講堂
専攻及び各分野の簡単な紹介と説明の後、個別に質疑応答を行います。

社会医学専攻の紹介	大江 和彦(専攻長)
各分野の紹介	
衛生学	石川 俊平
公衆衛生学分野	小林 廉毅
法医学分野	岩瀬 博太郎
医療情報学分野	大江 和彦
健康環境医学分野	村上 誠
医療コミュニケーション学分野	木内 貴弘
臨床情報学分野	小山 博史
臨床疫学・経済学分野	康永 秀生
社会予防疫学分野	佐々木 敏
精神保健学分野	川上 憲人
保健社会行動学分野	橋本 英樹・近藤尚己
医療倫理学分野	赤林 朗
がん政策科学分野(連携)	東 尚弘
がん疫学分野(連携)	井上 真奈美
がんコミュニケーション学分野(連携)	高山 智子



これらもオンラインでの実施・提出書類の追加など今後発表の可能性がある
ので、ホームページ他頻回にチェックしてください

健康科学・看護学専攻(博士後期課程) パブリックヘルスプログラムとは

- 健康科学・看護学専攻(博士後期課程)において、公衆衛生関連領域の教育・研究に関連の深い健康科学講座が1つになり、**パブリックヘルスプログラム**を立ち上げた。
- 公衆衛生に関する教育研究を、修士課程(専門職)から博士後期課程までシームレスに行うことを目的とする。

パブリックヘルスプログラムへの 入学が想定される者

- 公衆衛生学修士課程修了者
 - 本学医学系研究科公共健康医学専攻(専門職学位課程)
 - 他学公衆衛生大学院専門職修士・修士課程修了者
- その他の修士課程修了者
 - 本学、他学を問わず
- 修士号取得済みの社会人経験者

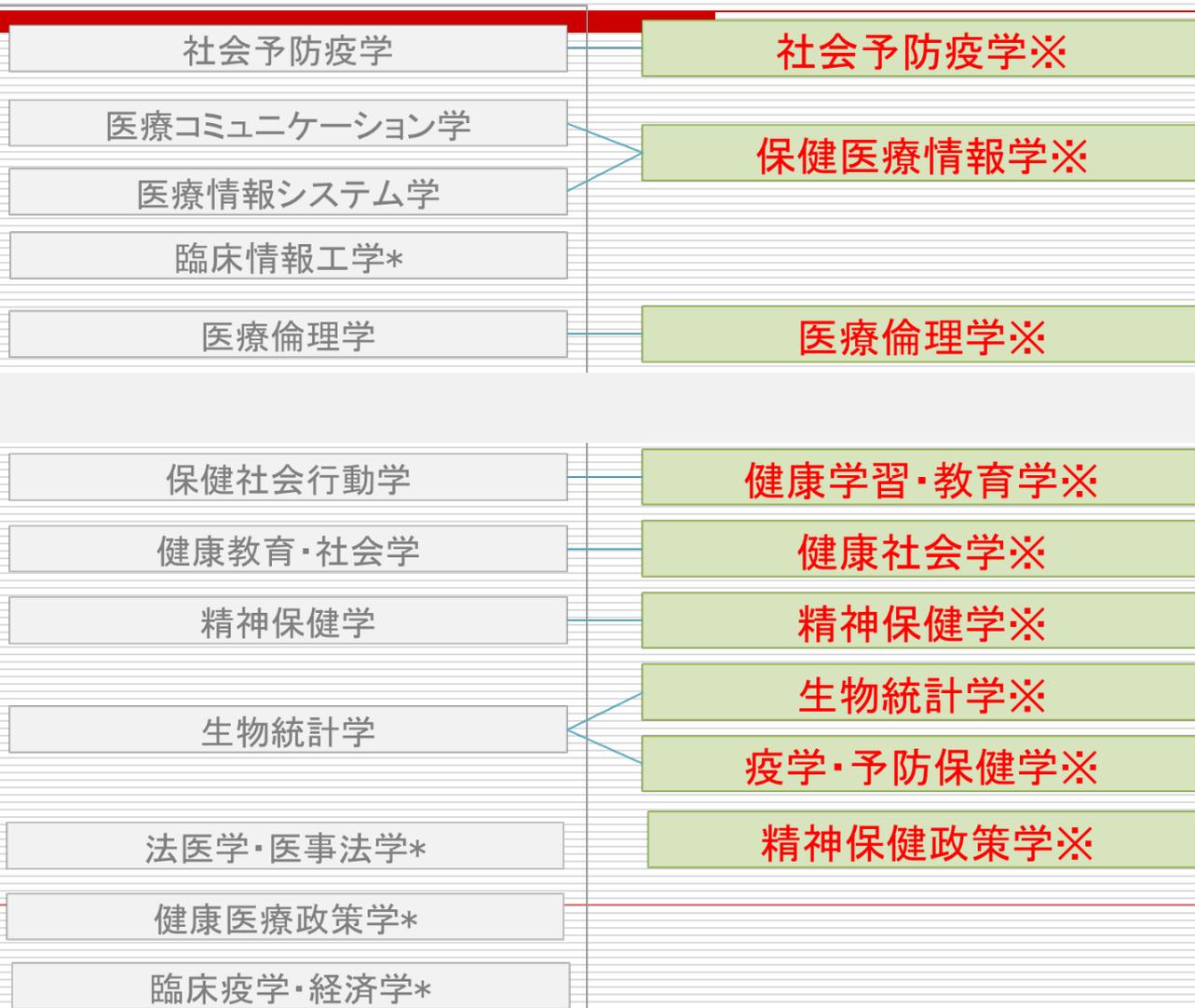
健康科学・看護学専攻(博士後期課程) パブリックヘルスプログラムの組織

〈 専門職学位課程 〉

※パブリックヘルスプログラム

公共健康医学専攻

*博士後期課程は社会医学専攻



協力講座

健康科学講座

パブリックヘルスプログラム各分野の概要(1)

分野名	教員	研究内容
社会予防疫学	佐々木敏教授	栄養疫学、公衆栄養学、社会予防疫学
保健医療情報学	大江和彦教授	医学知識ベース、病院情報システム、電子カルテ
医療コミュニケーション学	木内貴弘教授	ヘルスコミュニケーション、メディアコミュニケーション
医療倫理学	赤林 朗 瀧本禎之	生命・医療倫理学全般(様々な人文・社会科学的方法論を用いる)、臨床倫理、研究倫理、看護倫理、保健・医療行政、保健・医療経済 医療倫理学、臨床倫理、臨床倫理コンサルテーション、意思決定プロセス

パブリックヘルスプログラム各分野の概要(2)

分野名	教員	研究内容
健康学習・教育学	橋本英樹教授	社会・経済・文化的要因と健康との関連に関する社会行動学的研究を広く含む
健康社会学	近藤尚己准教授	健康の社会的決定要因に関する疫学研究
精神保健学	川上憲人教授 西 大輔准教授	地域における精神障害の疫学、職場のメンタルヘルス、災害・国際精神保健うつ病・PTSD の予防、栄養精神医学、レジリエンス、外傷後成長
生物統計学	松山 裕教授	生物統計学、医学研究の計画と医学データ解析、臨床試験の方法
疫学・予防保健学	松山 裕教授 (兼) 大庭幸治准教授	疫学、疫学研究の計画と解析、理論疫学 疫学、疫学研究の計画と解析、メタ・アナリシス
精神保健政策学 (連携講座)	金吉晴連携教授	心理的トラウマ、災害精神保健、疫学、バイオマーカー、支援制度、政策、治療

パブリックヘルスプログラム 博士(保健学)取得修了後の進路

- 選択する分野によって異なる。
 - 多くは、大学(教員、研究員)
 - 国公立研究所、民間研究機関
 - 医療機関
 - 国際機関(国連、世銀)
 - 民間企業(製薬企業、シンクタンク)
 - NPO/NGO
-

さらに分野ごとに詳しく話されたいかたは

□ 生物統計学(松山教授)

matuyama@epistat.m.u-tokyo.ac.jp

□ 社会予防疫学(佐々木教授)

stssasak@m.u-tokyo.ac.jp

□ 臨床疫学・経済学(康永教授)

yasunagah-tky@umin.ac.jp

□ 医療コミュニケーション学(木内教授)

hc-staff@umin.ac.jp

さらに分野ごとに詳しく話されたいかたは

- 精神保健学(川上教授・西准教授)

norito@m.u-tokyo.ac.jp

d-nishi@m.u-tokyo.ac.jp

- 保健社会行動学(橋本教授)

hidehashimoto-circ@umin.ac.jp

- 健康教育・社会学(近藤准教授)

nkondo@m.u-tokyo.ac.jp

- 医療倫理学(赤林教授・瀧本准教授)

taki-ty@umin.ac.jp

- 保健医療人材育成学(大西講師)

onisi-hirotaka@umin.ac.jp

さらに分野ごとに詳しく話されたいかたは

- 健康医療政策学(小林教授・豊川准教授)

yasukik@m.u-tokyo.ac.jp

toyokawa@m.u-tokyo.ac.jp

- 臨床情報工学(小山教授)

hoyama@m.u-tokyo.ac.jp

- 医療情報システム学(大江教授)

ohc-office@adm.h.u-tokyo.ac.jp

- 法医学・医事法学(岩瀬教授)

iwase-ky@umin.ac.jp

- 国際環境保健学(Kim准教授)

yoonheekim@m.u-tokyo.ac.jp

- 保健医療科学(福田連携准教授)

fukuda.t.aa@niph.go.jp

主なQ&A

- 追加書類(小論文・活動報告書)、面接などについての詳細は？
 - 近日医学系研究科ホームページなどで入試募集要項修正追加事項を公表するので参照してください
- 就業しながら就学できるか？
 - 就学中は学業優先にするという職場の了解(上司などからの承諾書)の提出などが条件。いわゆる社会人入学枠はありません。
- 1年コースの募集資格は
 - 募集要項に記されているとおり。該当するか否かはっきりしない場合は事前審査(6月1日締め切り)が必要。事前審査をしなくても応募すること自体は妨げない。
- 在職証明・留学証明などが新型コロナウイルスの影響で窓口が動いていないがどうしたらよいか
 - 今般の事情は斟酌するが、いつごろ入手可能ななど大学院係に連絡・相談してください
- 1年コースの場合研究室配属はないのか
 - 必須ではないが、希望する場合は課題研究など含めて配属研究室を決めることはできる
- 社会医学専攻と健康科学看護学専攻パブリックヘルスプログラムの違いは？
 - 修了年限の違い(4年と3年)、担当研究室の違い(ホームページ参照)です。博士課程希望者は入学希望先の研究室教員とまず連絡して相談してください。
- 今年度の応募書類は？
 - 入学願書・各種証明書などは原則郵送にて(オンラインは事情がある場合のみ)。なお追加書類(小論文・活動報告書・付帯資料)はオンラインでの提出を予定しています。詳細は医学系研究科ホームページ参照のこと